

# 令和7年度予算見積調書

課室名：障害者福祉推進課

担当名：障害福祉、総務・団体担当

内線：3315

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
S159	障害児等社会適応支援事業費			一般会計	民生費	社会福祉費	障害者福祉費	障害者援護対策費	
事業期間	昭和46年度～	根拠法令	障害者基本法第17条、第18条、第23条（任意）		針路	07	誰もが活躍し共に生きる社会の実現		SDGsゴール 10
					分野施策	0703	障害者の自立・生活支援		SDGsターゲット 10-2
1 事業概要 障害児(者)の社会適応能力の向上と社会参加の促進のため、障害児(者)及びその家族等に対し各種相談に応じるとともに、訓練、交流、啓発事業を行う。			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 難聴児対策事業 181千円 「耳の日」記念のつどい 耳の日(3月3日)を記念し聴覚障害及び聴覚障害者に対する理解を深めるため、耳に関する講演会を開催する。 イ 在宅重度心身障害児(者)療育援護事業 580千円 日頃外出の機会に恵まれない在宅の重度心身障害児(者)の集団野外訓練及び相互交流を図るため、療育キャンプを実施する団体に対して補助する。 ウ 難病患者等訓練事業 162千円 難病患者及び障害者に対し、作業訓練を実施する団体に対して補助する。 (2) 事業計画 ア 難聴児対策事業 「耳の日」記念のつどい 年1回、講演会を開催する。 イ 在宅重度心身障害児(者)療育援護事業 4団体に対して補助する。 ウ 難病患者等訓練事業 1団体に対して補助する。 (3) 事業効果 ア 難聴児対策事業 「耳の日」記念のつどい 視聴回数 令和3年度1,494回、令和4年度1,216回、令和5年度1,005回 【活動指標(アウトプット)】来場者数と配信動画の総再生回数 【成果指標(アウトカム)】来場者数 150人 イ 在宅重度心身障害児(者)療育援護事業 参加者数 令和3年度104人、令和4年度107人、令和5年度123人 【活動指標(アウトプット)】在宅重度心身障害児(者)療育援護事業参加人数 130人 【成果指標(アウトカム)】在宅重度心身障害者の社会適応能力が向上し、社会参加が促進される。 ウ 難病患者等訓練事業 参加者数 令和3年度80人、令和4年度43人、令和5年度89人 【活動指標(アウトプット)】難病患者等訓練事業訓練参加人数 100人 【成果指標(アウトカム)】難病患者等の社会適応能力が向上し、社会参加が促進される。						
2 事業主体及び負担区分 ア (県10/10) イ (県10/10) ウ (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.2人=1,900千円									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	923							923	△7
前年額	930							930	

## 事業内訳書

事業名	障害児等社会適応支援事業費		
単位事業名	難聴児対策事業	予算額	181千円

### ○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	181	△7	
合計	181	△7	

### ○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	181	△7	「耳の日」記念のつどい講演会講師謝金 2名分
合計	181	△7	

単位事業名	在宅重度心身障害児（者）療育援護事業	予算額	580千円
-------	--------------------	-----	-------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	580	0	
合計	580	0	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	580	0	障害者団体への補助金
合計	580	0	

単位事業名	難病患者等訓練事業	予算額	162千円
-------	-----------	-----	-------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	162	0	
合計	162	0	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	162	0	障害者団体への補助金
合計	162	0	